

福井市新ごみ処理施設整備事業

3 環境影響評価準備書

内容

1. 対象事業を実施しようとする者の氏名及び住所
1.1 対象事業を実施しようとする者の氏名及び住所
1.2 代表者の氏名
1.3 主たる事務所の所在地
2. 対象事業の名称
2.1 対象事業の名称
3. 対象事業の目的及び内容
3.1 対象事業の種類
3.2 対象事業の目的
3.3 対象事業の規模
3.4 対象事業の内容
3.4.1 対象事業実施区域
3.4.2 対象事業実施区域の選定の経緯
3.4.3 環境影響の範囲
3.4.4 工事着手予定
3.4.5 供用開始予定
3.4.6 施設計画
3.4.7 土地利用計画
3.4.8 収集計画
3.4.9 取水計画
3.4.10 排水計画
3.4.11 工事計画
3.4.12 造成計画
4. 対象事業実施区域及びその周囲の概況
4.1 自然的状況
4.1.1 気象の状況
4.1.2 大気環境の状況
4.1.3 水象の状況
4.1.4 水環境の状況
4.1.5 土壌、地盤、地形及び地質の状況
4.1.6 植物及び動物の状況
4.1.7 景観の状況
4.1.8 自然との触れ合いの活動の場の状況

4.2 社会的状況

- 4.2.1 人口の状況
- 4.2.2 産業の状況
- 4.2.3 交通の状況
- 4.2.4 土地利用の状況
- 4.2.5 水利用の状況
- 4.2.6 環境の保全についての配慮が特に必要な施設等の状況
- 4.2.7 文化財の状況
- 4.2.8 関係法令等による指定、規制の状況
- 4.2.9 その他下水道整備、し尿処理、ごみ処理の状況
- 4.2.10 各種関連計画の状況

5. 方法書についての意見及びそれに対する事業者の見解

- 5.1 方法書についての住民意見の概要及びそれに対する事業者の見解
- 5.2 方法書についての知事意見及びそれに対する事業者の見解

6. 対象事業に係る環境影響評価の項目

- 6.1 影響要因の把握
- 6.2 環境影響評価項目の選定及びその選定・非選定理由

7. 調査、予測及び評価の手法及び結果

7.1 大気質

- 7.1.1 調査
- 7.1.2 建設機械の稼働、掘削工事及び切土・盛土・造成工事に伴う粉じんに係る予測・評価
- 7.1.3 工事用車両の運行に伴う粉じんに係る予測・評価
- 7.1.4 建設機械の稼働に伴う二酸化炭素・浮遊粒子状物質に係る予測・評価
- 7.1.5 工事用車両の運行に伴う二酸化炭素・浮遊粒子状物質に係る予測・評価
- 7.1.6 施設の稼働に伴う大気質に係る予測・評価
- 7.1.7 施設利用車両の走行に伴う二酸化炭素・浮遊粒子状物質に係る予測・評価

7.2 騒音

- 7.2.1 調査
- 7.2.2 建設機械の稼働に伴う騒音に係る予測・評価
- 7.2.3 工事用車両の運行に伴う騒音に係る予測・評価
- 7.2.4 施設の稼働に伴う騒音に係る予測・評価
- 7.2.5 施設利用車両の走行に伴う騒音に係る予測・評価

7.3 振動

- 7.3.1 調査
- 7.3.2 建設機械の稼働に伴う振動に係る予測・評価
- 7.3.3 工事用車両の運行に伴う振動に係る予測・評価
- 7.3.4 施設の稼働に伴う振動に係る予測・評価
- 7.3.5 施設利用車両の走行に伴う振動に係る予測・評価

7.4 低周波音

7.4.1 調査

7.4.2 施設の稼働に伴う低周波音に係る予測・評価

7.5 悪臭

7.5.1 調査

7.5.2 施設の稼働に伴う悪臭に係る予測・評価

7.6 水質

7.6.1 調査

7.6.2 工事の実施に伴う水の濁り(掘削工事及び切土・盛土・造成工事)に係る予測・評価

7.6.3 工事の実施による水素イオン濃度の変化(掘削工事及び切土・盛土・造成工事)に係る予測・評価

7.7 動物

7.7.1 調査

7.7.2 建設機械の稼働に伴う動物に係る予測・評価

7.7.3 掘削工事及び切土・盛土・造成工事に伴う動物に係る予測・評価

7.7.4 敷地の存在に伴う動物に係る予測・評価

7.8 植物

7.8.1 調査

7.8.2 掘削工事及び切土・盛土・造成工事に伴う植物に係る予測・評価

7.8.3 敷地の存在に伴う植物に係る予測・評価

7.9 生態系

7.9.1 調査

7.9.2 掘削工事及び切土・盛土・造成工事に伴う生態系に係る予測・評価

7.9.3 敷地の存在に伴う生態系に係る予測・評価

7.10 景観

7.10.1 調査

7.10.2 敷地の存在及び施設の存在に伴う景観に係る予測・評価

7.11 人と自然との触れ合いの活動の場

7.11.1 調査

7.11.2 建設機械の稼働、掘削工事及び切土・盛土・造成工事に伴う人と自然との触れ合いの活動の場に係る予測・評価

7.11.3 敷地の存在、施設の存在及び施設の稼働に伴う人と自然との触れ合いの活動の場に係る予測・評価

7.12 廃棄物等

7.12.1 工事の実施(掘削工事及び切土・盛土・造成工事)に伴う廃棄物等に係る予測・評価

7.12.2 施設の稼働に伴う廃棄物等に係る予測・評価

7.13 温室効果ガス等

7.13.1 施設の稼働に伴う温室効果ガスに係る予測・評価

8. 環境保全措置の内容

8.1 事業計画の検討経緯と環境配慮

8.1.1 複数案からの絞り込みの考え方

8.1.2 対象事業実施区域の範囲

8.1.3 造成計画

8.1.4 処理方式の選定

8.2 環境保全措置に係る検討について

8.2.1 施設の稼働に伴う煙突排ガスの影響

8.2.2 建設機械の稼働に伴うオオタカへの影響

8.2.3 掘削工事及び切土・盛土・造成工事に伴うギンランへの影響

8.2.4 施設の稼働に伴う温室効果ガスの影響

8.3 環境影響評価項目に係る環境保全措置

8.3.1 大気質

8.3.2 動物

8.3.3 植物

8.3.4 温室効果ガス等

8.4 環境影響評価項目に係る環境配慮方針

8.4.1 大気質

8.4.2 騒音

8.4.3 振動

8.4.4 低周波音

8.4.5 悪臭

8.4.6 水質

8.4.7 動物

8.4.8 植物

8.4.9 生態系

8.4.10 景観

8.4.11 人と自然との触れ合いの活動の場

8.4.12 廃棄物等

8.4.13 温室効果ガス等

9. 事後調査の内容

9.1 事後調査の方針

9.2 事後調査の項目選定

9.3 事後調査の手法等

9.3.1 動物(オオタカ)

9.3.2 植物(ギンラン)

9.3.3 まとめ

9.4 事業者が自主的に実施する調査の手法等

9.4.1 大気質

9.4.2 悪臭

9.4.3 まとめ

10. 総合評価

11. 準備書に関する業務の委託先の名称、代表者の氏名及び主たる事務所の所在地